

プレゼンテーション骨子

(1) ODA重視の前提条件

- ・ グローバリゼーションの進展に伴う格差拡大、公的資金（とりわけ南の国々）の縮減

- ・ 地球環境問題の深刻化

→行き過ぎた市場至上主義の影響で教育、福祉、保健医療、環境などに資金が回らない状況が続いている

(2) グローバル・ガバナンスの問題

- ・ 自己決定権を持ち得ない南の政府

- ・ 遅々として進まない南の政府の民主化

→南の市民（ODAの直接の受益者）から遠いところにあるODA（含むMDGs資金）

(3) 日本のODAの現状

- ・ 世界の需要、趨勢と逆行する量の問題

- ・ 遅々として進まない行財政改革・・・霞ヶ関に対する市民の不信感

→日本の公的機関の信頼醸成と優先順位の確立が急務

(4) 開発の主役は一人一人の市民

- ・ 実施段階における市民主体の確立

- ・ 政策立案におけるより一層の透明性の確保

→方向性を明確に！そのための愚直な施策の重要性